

このシンポジウムでは、これからの人々が心豊かに暮らせる地域づくりのため、一般・企業・自治体・学術機関等が取り組むべき環境活動や目標の設定を行う際の指針として、2015年ニューヨーク国連本部で150を超える国によって採択された人類共通の行動計画「SDGs（持続可能な開発目標）」の活用を提案いたします。また、地球・日本・そして故郷を「持続可能な社会」として次世代へと引き継ぐためには、学校・家庭・地域社会がSDGsという共通目標・共通認識のもとで、環境教育を進めることも大変重要です。SDGs実現のために「地域からはじめるアクション」について、様々な立場の垣根を取り払って一緒に考えてみましょう。

Let's think together!



2017 9 | 3 Sun. 持続可能な社会にむけた地域からのアクション

国連アジェンダ SDGs をどう使う!?

	<p>13:00 開会挨拶</p> <p>猪股 宏</p> <p>NPO 法人環境会議所東北代表理事 東北大学教授</p>	<p>13:05 基調講演</p> <p>世界が一致した共通目標 SDGs ～企業と地域はいま何をすべきか？</p> <p>佐藤 博之 氏 アミタ株式会社 代表取締役</p>
<p>会場 古典芸能伝承の館 碧水園 JR 白石駅より徒歩 15 分 宮城県白石市南町 2-1-13</p> <p>お車で越しの方は、白石第二小学校の駐車場をご利用下さい。</p>	<p>13:45 活動紹介 ①</p> <p>持続可能 (サステナブル) な環境と経営活動 ～坂元植林の家づくり、200 年の森づくり～</p> <p>大沼 毅彦 氏 株式会社サカモト 坂元植林の家 代表取締役</p>	<p>15:35 パネルディスカッション</p> <p>SDGs 目標 11 住み続けられるまちづくりの実現に向けて</p> <p>パネリスト</p> <p>佐藤 博之 氏 大沼 毅彦 氏 笹木 隆之 氏 海藤 節生 氏</p> <p>ファシリテーター 壁谷 武久 氏 一般社団法人産業環境管理協会 地域・産業支援センター所長</p>
<p>14:30 活動紹介 ②</p> <p>Made in 白石市 石から始まるグローバルな素材革命</p> <p>笹木 隆之 氏 株式会社 TBM 執行役員</p>	<p>15:00 活動紹介 ③</p> <p>SDGs NO.15 ～Life on Land～ から 見えてくる誰も置き去りにしない社会</p> <p>海藤 節生 氏 東北地方 ESD 活動支援センター ESD コーディネーター NPO 法人水守の郷・セヶ宿 理事長</p>	

SDGs とは

2015年9月ニューヨーク国連本部において開催された「国連持続可能な開発サミット」において、150を超える加盟国首脳に参加のもと、その成果文書として「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。この計画が「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs)」です。SDGsは、深刻化する環境課題など17の目標の達成のため、全世界が取り組むことによって『誰も取り残されない』世界を実現しようという壮大なチャレンジです。



講師・ファシリテーター略歴

佐藤 博之 氏

アマタ株式会社
代表取締役



グリーン購入ネットワーク事務局長・専務理事、世界エコラベリングネットワーク総務事務局長等を経て、アマタグループに合流、現職。アマタホールディングス株式会社専務取締役、株式会社アマタ持続可能経済研究所取締役を兼務。持続可能な循環型社会の実現に向けて、宮城県南三陸町をはじめとする国内外の地域循環システム構築や企業のサステナビリティ戦略の支援に取り組む。

大沼 毅彦 氏

株式会社サカモト
坂元植林の家
代表取締役



明治 41 年設立の坂元植林合資会社を母体に 100 ～ 200 年という長期的視野で森と人との共生（自然からの恩恵にお返しを行う「めぐるめぐみ」の環）や地域に根差した循環サイクルを追究。地産地消を重視し、自社林での木材を生かし、職人が技と心で住まいを提供する「地域との共生」と自然の循環と持続の実現を目指す。

笹木 隆之 氏

株式会社 TBM
執行役員



株式会社電通に入社後、事業活動を“アイデア”で活性化させる未来創造グループに所属。マーケティングを起点に新規事業開発、新商品開発、店舗開発をプロデュース。電通ソリューション部門ベストプラクティスフォーラムでは MVP 賞などを受賞。2016 年 4 月株式会社 TBM に入社。慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員。著書に「自分ゴト化社員の行動をブランディングする」（ファーストプレス、共著）等。

海藤 節生 氏

東北地方 ESD 活動
支援センター
ESDコーディネーター
NPO法人水守の郷・七ヶ宿
理事長



水源の森をフィールドに自然と地域文化に触れる活動を「七ヶ宿山がっこ」として計画・実施している。森林の多面的機能をプログラムに環境学習にも力を入れる。2017 年 7 月に開設された東北地方 ESD 活動支援センターの ESD コーディネーターとして東北の個性溢れる学びをコーディネートし ESD の推進、ネットワークの構築に向け東北地方を奔走する。

壁谷 武久 氏

(一社)産業環境管理協会
地域・産業支援センター
所長



元経済産業省。2007 年 4 月（一社）産業環境管理協会入社、製品環境部門製品環境事業センター所長、同部門 LCA 事業推進センター所長、同部門副部門長（兼地域支援ユニット長）を経て現職。環境・エネルギーを軸とした「地方創生活動支援」、「地力型産業社会づくり」の提唱と、全国の地域特性を生かす地域振興の提案と地域環境・エネルギービジネスの振興支援などを展開。

お申込み方法



申込専用フォーム

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/70c92fc3522383>



022-218-0761

参加無料，定員 100 名



参加 申込 書	ご氏名
	会社名・役職名
	ご連絡先 TEL・e-mail
	本フォームにご記入の上送信ください FAX 022-375-7797



お問い合わせ：

NPO法人環境会議所東北



022-218-0761



022-375-7797



kk-tohoku@kk-tohoku.or.jp